

Q&A

Q.初めての寄宿舎生活が不安です。

A.一人ひとりのペースを大切に、段階的な利用も含めて、指導員が丁寧に支援します。また、入舎前に体験会の実施や、見学・相談は随時受け付けていますので、いつでもご相談ください。

Q.持ち物はどのような物が必要ですか？

A.衣類や日用品など、必要な物の一覧をお渡しします。その中から利用状況に合わせて、ご家庭と相談しながらご準備いただいています。

Q.寄宿舎を利用するのに、費用はどのくらいかかりますか？

A.毎月、舎費・舎食費・間食費を実費でご負担いただきます。

・舎費（1か月あたり）：700円 ・間食費（1食あたり）：140円

・舎食費（1食あたり）：小学部：400円、中学部・高等部：430円

舎食費・間食費に関しては、就学奨励費の対象となりますが、各世帯の状況により異なります。

Q.1週間ずっと泊まりますか？

A.入舎の希望をお聞きする際に、希望泊数（1泊～4泊）や利用曜日の確認をしています。寄宿舎の泊まりの進め方についても、一人ひとりの様子に応じて、柔軟に進めています。

Q.携帯電話やタブレット、ゲーム機等の持ち込みはできますか？

A.携帯電話やタブレットは条件を満たしていれば、上限60分の中で使うことができます。ゲーム機やおもちゃ等の持ち込みについては、事前にご相談のうえ、持ち込みは可能です。

Q.食物アレルギーがありますが、入舎はできますか？

A.入舎は可能です。学校栄養教諭と連携し、事前に献立の確認をしています。内容によっては、常温保存可能な代替食を用意していただくことになります。

Q.寄宿舎を利用すると、放課後等デイサービスは使えませんか？

A.それぞれの放課後等デイサービスによって対応が異なります。放課後等デイサービスにご確認ください。

見学のご案内

実際の生活の様子をご覧いただいたり、入舎に関わる相談等にも応じておりますので、ご利用ください。



学校HP

新潟県立月ヶ岡特別支援学校

〒955-0803

新潟県三条市月岡4935

小中) 教務室：0256-32-6973

高) 教務室：0256-33-5807

窓口：教頭



まだ会ったことのない 自分を探そう

安心できるもう一つの生活の場

新潟県立月ヶ岡特別支援学校 寄宿舎のご案内





寄宿舎ってどんなところ？

寄宿舎は、身辺自立、社会性、コミュニケーション力を育む学校併設の宿泊型の教育施設です。

生活を育てる支援

一人ひとりに合わせて生活する力を育てます。

つながりを大切に

仲間や職員との関わりを通して、豊かな心を育みます。



寄宿舎の特色

- 基本的生活習慣の定着を図るため、個に応じた指導・支援を充実させています。
- 卒業後、グループホームや一人暮らしをすることを目指して、生活に必要なスキルを学ぶことができます。
- 集団生活の中で、自分の役割を見つけながら、いろいろなことに挑戦し、「できた」経験を積むことができます。
- 異年齢の児童生徒の関わりの中で、人と関わる楽しさや余暇を経験することができます。



1日の流れ



6:30 起床・身支度



7:30 朝食・登校準備



8:45 登校

下校後



間食・入浴
洗濯・余暇活動

17:30



夕食

18:30



余暇・自由時間

21:00



就寝

※個々の状況に合わせて、柔軟に対応します。



寄宿舎での生活



食事

栄養バランスを考えた
温かい食事を提供しています。



入浴

複数人で入浴できる環境を整えています。



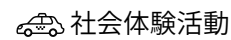
洗濯

一人ひとり自分でできることに
取り組んでいます。



余暇活動

好きなことを楽しんだり、仲間
と一緒に活動したりします。



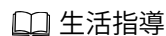
社会体験活動

グループごとに、地域の社会資源
を活用し、活動の幅を広げます。



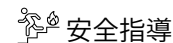
行事

ハッピーカーニバルやおわかれ
会のイベントがあります。



生活指導

健康や生活のルール、マナーに
ついてみんなで考えます。



安全指導

避難訓練で防災の知識を学び、安
心して生活できるようにします。



運動

ウォーキングやランニング、色々
なスポーツで体を動かします。



職員体制

- 1日あたり5～7人の寄宿舎指導員と舎監（教諭）1人で宿直勤務を行います。
- 医師や看護師などの医療スタッフは配置されていません。体調不良や怪我などが生じた場合は、保護者連絡を行い、迎えに来ていただくことがあります。